

平成 31 年（令和元年）度事業所評価及び外部評価

小規模多機能居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホーム がんばろ家

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

スタッフ個別評価・・・・・・・・・・（ス-①～⑨）

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー

青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・
宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7人	1人	3人	11人

前回の改善計画

*利用開始のアセスメントと利用開始からのモニタリングを担当中心となり記入する。(用紙の準備)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・用紙の準備を誰がいつするのか決まっていないうえ、実際に具現化出来ていない。
- ・職員間で話し合いを積極的に行い取り組んでいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10			11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	7	3		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		9	1	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		9	2		11

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始時の情報共有できている。
- ・ご家族との関係作りができている。
- ・情報を得る機会を見つける努力をしている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・過度なサービスになっている部分がある。
- ・必要な支援か分からないところがある。
- ・利用者、家族の深層部の思いの表面化や具現化出来ていない部分がある。
- ・利用開始前のアセスメントに参加出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・過度なサービスについて何が過度なのか検討する必要がある。
- ・コミュニケーションを増やしご本人、ご家族の思いを引き出す。
- ・適切な支援が出来るようにモニタリング、アセスメントを行い計画する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13 : 30～14 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4 人	5 人	2 人	11 人

前回の改善計画
*認知症が多くなかなか「～したい」を本人から聞くのが難しい為、以前していた事の情報収集しそれを「～したい」に結びつける。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者の思いにそれぞれ向き合って実現する方向で努力しているが、なかなか実現できなかった。 ・以前していたこと = (イコール) 今したいこと ではない利用者もいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	4	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	4		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	4	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4		2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・プランを確認しご本人との会話の中で思い目標を把握している。 ・利用者様との会話で〇〇をしていた等の情報収集を心掛けている。 ・利用者様の「～したい」「～行きたい」の希望を出来る限り実現できている。 ・利用者個別のデマンド (需要・要求) は何となく理解している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・体調や業務などで実現できない。 ・本人様のやる気を引き出し行動に移せていない。 ・目標をなかなか引き出していない。 ・デマンドに対して小規模が何をすべきかを追求すること。 ・夜間勤務の為、接する利用者様が限られてくる。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・関係性を築き担当職員を中心に支援していく。 ・「～したい」を叶えるために実現可能な目標を立案する。 ・自宅での生活が出来るように環境を整えていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13:30~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6 人	3 人	2 人	11 人

前回の改善計画	
* 自宅と施設での支援が統一出来ないため、家族にも協力していただく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ 送迎時の際お話しする機会はあるものの、なかかな結果として出てない。 ・ 協力いただける家族とそうでない家族がいた。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		2	8	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		11			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		9	2		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		11			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		11			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 体調、気分等の知りえた情報を共有し支援に繋げている。 ・ ミーティング等で必ず発言するよう心掛けている。 ・ 夜間の体調変化に対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ ご家族からの協力を得られない場合がある。 ・ 地域資源の把握が出来ていない。 ・ 利用者様の声にならない声を言語化出来ていない。 ・ 以前の暮らしの把握が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ ご家族からの協力が難しい部分は、環境を整えながらご本人が自宅で日常生活出来るようにしていく。 ・ 超具体的かつ達成可能な目標にすることでご家族とも同じ方向を向いてもらえるよう支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1 人	4 人	6 人	11 人

前回の改善計画	*担当職員を中心に地域資源を見つける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・うまく地域資源を活用できている利用者もいる。 ・各利用者、家周辺の地域資源までより詳しく知ることは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5		11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	4	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	4	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	6	3	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・近隣の方々との関係作りができている。 ・利用者様宅のご近所がいらっしゃったら挨拶や声掛けに心掛けている。 ・ご家族が自信を持てるよう声掛けをしている。 ・「これまでの人生をどう過ごしてきたか」を知ることが出来ていると思う。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域資源の活用が出来ていない。 ・地域との結びつき。 ・民生委員の把握。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・職員一人一人が意識を持ち地域へ出向き地域資源、社会資源につなげる。 ・利用者様の地域での行動把握。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13:30~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	5 人	3 人	2 人	11 人

前回の改善計画	*利用者様の思いを家族に説明し、目先だけではなく長い目で提案をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・出来ている部分となかなか進んでいない部分がある。 ・少しずつ家族の理解を得るようになっていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	3	3	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?		9	1	1	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	9			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	8	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域行事等に参加できている。 ・体調管理、ニーズの提供。 ・その日の利用者様の状態を職員間で共有、判断し通い・訪問・泊まりの支援ができている。 ・ミーティングやカンファレンス開催時でのスタッフ間での情報共有。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・長期目標の提案。 ・地域資源を活用しての支援。 ・ご家族との関りが希薄な時がある。 ・共有したことが統一出来ない場合もある。 ・ご本人のニーズではなく、ご家族のニーズに偏りがち。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・短期目標と長期目標を具体的に話し合い提案していく。 ・柔軟な支援が出来るよう職員間の情報共有を密にする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13 : 30 ~ 14 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5 人	4 人	2 人	11 人

前回の改善計画	
* 地域の方々が訪れる雰囲気、環境作りをする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ 敷居を高くしているつもりは全くないが、地域の方々が気軽に訪れて下さる機会は少ない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		4	2	5	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	2	1	7	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	2	2	6	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?			5	6	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 運営推進委員会。・ 地域の方の来訪 (野菜などの提供時)。・ 医療機関との連携、相談。・ 新規や更新時会議が開かれている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 自治会の会議、活動への参加。・ 担当者会議に参加出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ 自治会活動、担当者会議に積極的に参加し関わりをもつ。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13:30~14:30)

7. 運営

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	2 人	2 人	11 人

前回の改善計画	* 上下関係気にせず、苦情を把握、共有する。迅速かつ丁寧な対応に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 共有出来ている。 ・ 迅速な対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		9	1	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	3	1	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	4	1	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		4	5	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 苦情の把握。 ・ 利用者様やご家族、地域住民の意見を運営に反映できている。 ・ 自分の意見は発言するよう心掛けている。 ・ 職員間の意見交換。 ・ 地域の行事にできる限り参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 苦情への対処や改善。 ・ 地域との協働 (地域の利用者もいるが少ないため)。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 苦情申し立て人に対して改善した事、もしくは代替案をフィードバック (伝え返す) する。 ・ 通信機能を活用し情報共有に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13 : 30～14 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	3 人	2 人	5 人	11 人

前回の改善計画	
*利用者様に関する研修に参加する。 *資格取得に挑戦する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・資格取得や研修に積極的である。 ・介護福祉士取得率の割合が年々増えている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	3	4	3	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4		5	11
③	地域連絡会に参加していますか	1	4		6	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	1	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・研修に参加。 ・資格取得やスキルアップ。 ・リスクマネジメントに関してはインターネット等で自主的に勉強している。 ・リスクマネジメントについては場合ごとに職員間で話し合っている。 ・ライフサポートワーカーとして会議やイベントに参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・リスクマネジメントに取り組めていない。 ・資格取得の勉強が出来ていない。 ・研修に参加出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・研修に参加する職員が偏らないようにメンバー選定する。 ・全員、認知症実践者研修を受講終了する。 ・リスクマネジメントに関して学ぶ。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 1 日 (13 : 30～14 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 青木・岡元・大平・古田・遠山・曾田・生駒・宮永・久保田・田中・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6 人	3 人	2 人	11 人

前回の改善計画	
* プライベートや個人情報のあり方の勉強会実施。 * 上下関係なく注意していく。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・ 勉強できていないが、情報の取り扱いは気を付けている。 ・	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	1			11
②	虐待は行われていない	10	1			11
③	プライバシーが守られている	5	6			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	1	7	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 人権やプライバシーを守れている。 ・ 虐待、拘束をしていない。 ・ 本人の意見を尊重している。 ・ 虐待、拘束に関して情報共有し、職員間で話し合っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 成年後見制度の勉強会。 ・ 成年後見制度を必要としている利用者がいない。 ・ 個人情報の開示ラインがわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・ 個人情報を常にお互い確認する。 ・ 成年後見制度の勉強。	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		3
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6		3
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	4	1	4
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		3

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】</p> <p>※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で取り組んでいるとは思いますが、一人ひとりに確認した訳ではないので分からないとした。 ・職員の声をできれば聞きたかった。
<p>【前回の改善計画に対して意見】</p> <p>※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの考え方、捉え方は違うと思うが意識を統一して環境作りをしていかないといけないと思う。 ・職員間の連携は良く取れていると思う。
<p>【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】</p> <p>※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが意識を持てば達成できる改善計画だと思う。
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価はそれぞれあると思うが、自己評価は「自分は何が出来ていて、何が出来ていないか」「何が得意で、何が苦手なのか」を考える良い機会だと思う。日頃のケアに自信、意識を持って取り組む事が大事だと思う。少しでも「はい」にチェックが多くなるようお互いが努力して取り組んで欲しい。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが意識をし、目標を決め取り組める改善計画を考える。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	1	5
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	9		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	9		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	9		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	8		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・改善計画は知らなかったがそれ以外の項目は見て評価できる環境状況である。

【前回の改善計画】

- ・利用者様が使い易く、くつろげる空間を既存の家具でレイアウトし提供していく。
- ・玄関前のスロープ付近が夜は暗くて見えづらいため照明の取り付けを前向きに検討。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・入口のエントランスを少し広げ送迎車が少しでも入口に着けるよう敷石を撤去した。
- ・玄関前のスロープの上に屋根を取り付けてもらい雨の日に傘を差さなくて済む事で、歩行介助がスムーズに行えるようになった（怪我や転倒の不安が解消された）。特に車椅子の利用者様は合羽の必要がなくなった。
- ・事業所内の整理整頓、各居室の掃除など環境整備をし事故や怪我などを防止に努める。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・現在使用している備品などに欠陥や破損がないか定期的に点検し事故、怪我の防止に努める。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		6
1	職員はあいさつできていますか？	9		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	7		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	8	1	

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・職員の中でも前回の改善計画に対し取り組みがバラバラであった。
- ・地域の行事やイベントには参加している。
- ・

【前回の改善計画】

- ・地域のひろばなど地域の方々が集う場所に出張講座の開催。
- ・同系列の事業者に声かけし出張講座の講師の依頼。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域のひろばに講師として医院長が講話をされ地域住民の方にとっても喜ばれた。また「たけちゃん一座」による認知症の劇も毎年恒例で開催しており、地域住民の方々の楽しみになっている。

【改善計画】※後日記入

- ・もっと地域に出向く機会を作り遠慮なく相談できる関係性を構築する。
- ・地域のイベントや行事に出来るだけ多くの利用者様を参加させる。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		8
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6	2	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	6	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	8		1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	1	6

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画が分からなかったにで「わからない」にチェックをした。改善計画も記載してほしい。 ・地域の行事やイベントに利用者様が参加している様子は運営推進会議の資料の中で分かる。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の色々な行事に利用者様をお連れし参加させたい。 ・泊りの利用者様を中心に行事やイベントの参加になっている傾向が強い様に見えるが、登録されている方全員に参加の声掛けをもっと積極的に行い参加を募っていきたい。
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事やイベントは限られた場所にだけ出向いているためそれ以外の参加はしていない。 ・訪問の際、ご本人の暮らしを観察し周りの方に情報がもらえないか収集してみる。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動（十二支会）に積極的に参加し、地域の方々との関りを持つ。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		7
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	2	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	9		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	8		1

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に利用者様やご家族の参加がない。 ・会議の中での意見が活発である。 ・
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の職員全員が地域の中で必要とされる関係性の構築に努める。
<p>【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の中でよく出る意見が「災害や事故について」である。身近な意見として最近出たのは、「安全運転の対策はどうしているか」であった。台風時の大雨の対策は、吉満内科への避難。安全運転については、ドライブレコーダーなどの検討であると、伝えられている。 ・行政の中でも福祉課など、どの地区にどんな方がいるのか把握は出来ているのか。 ・地域での防災マニュアルがあってもいいと思う。
<p>【改善計画】※後日記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で出た意見を検討し解決に取り組む。 ・遠友舎全体での改善計画を立て取り組む。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		6
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	8	1	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	2	4	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		9	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・事業所の防災マニュアルは良く出来ていると思う。
- ・この地区(宇都地区)は岩盤の上に土地があるので、土地はしっかりしている。
- ・川の増水時に橋の崩れが心配。
- ・何をしても慌てない事が大事。

【前回の改善計画】

- ・近隣の他事業所管理者との話し合いを早急に実現したい。その中で、防災マップも作成し事業所間で連携を図りたい。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・会議の中で紹介した「防災マニュアル」を地域の中でも紹介してほしい。
- ・避難場所が安全かどうか心配。
- ・自治会によっては、パチンコ店の駐車場が避難場所になっている。(高台にあるから)
- ・医療センターは、ライフラインがなく安全とは言えない(行政)
- ・桜島や新燃岳による被害の影響が出た場合、高齢者をどう避難させるべきかを考えておかなければならないと思う。

【改善計画】※後日記入

- ・防災マップを見直し再度検討する。必要事項の見直しはその都度行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 遠友舎	代表者	吉満 きみ代	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で生活するため、自宅で最期まで暮らし続けられる支援を目的とし、「がんばる家」は頑張っております。お風呂もかけ流しで畳の浴室となっております。 ・「これまでどおりをこれからも」は、遠友舎全体の理念でもあります。
事業所名	小規模多機能ホーム がんばる家	管理者	青木 昌恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	人	1人	1人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・上司に報告がちゃんとできる環境作り。 ・風通しの良い関係性の構築→信頼関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりの考え方、捉え方に差があり環境は万全とは言えない。 ・職員間の関係性はグループラインなどのツールを使い出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で取り組んでいるとは思いますが、一人ひとりに確認した訳ではないので分からないとした。 ・職員の方の声を聞きたかった ・職員間の連携は良く取れていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の取組みを今までより早く取り組む。 ・年度初めにそれぞれ一年間の目標を立ててもらう。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が使い易く、くつろげる空間を既存の家具でレイアウトし提供していく。 ・玄関前のスロープ付近が夜は暗く見えづらい為、照明の取り付けを前向きに検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の整理整頓は、時間を見てそれぞれが意識し実施している。 ・スロープ付近の証明は取り付けが出来なかったが、その上に屋根を取り付ける事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画が分からなかった。がそれ以外の項目は見て評価できる状況であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在使用している、設置してある備品などに欠陥や破損が無いが定期的に点検し、事故・怪我の防止に努める。 ・再度、玄関前のスロープ付近の証明の取り付けを検討。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のひろばなど地域の方々が集う場所に出向き出張講座の開催を計画実施。 ・同系列の事業所に依頼し出張講座の計画・依頼実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のひろばで院長先生の講話や職員による認知症の講座を行う事ができている。 ・他の事業所からの出張講座は依頼はしたものの中々、時間が合わず実施出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でも前回の改善計画に対し取り組みがバラバラであったと思う。 ・地域の行事やイベントには職員も含め参加していると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと地域に出向くを機会を作り事業所が遠慮なく相談できる場所だと認識してもらう。 ・地域の行事やイベントなどできれば会合にも参加していきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のいろいろな行事に利用者様を積極的にお連れし参加していきたい。 ・泊まりの利用者様を中心に行事やイベントの参加の傾向が強いように見える為、登録されている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事やイベントには参加の声掛けを行い参加出来ている。 ・事業所内や会社内の行事は利用日ではなくても声掛けし参加していただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画が分からず「わからない」にチェックをした。改善計画も記載して欲しい。 ・地域に利用者様が出向いている様子は、運営推進会議の資料からも推察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動、定例会（十二支会）にもっと参加し、地域の方々や十二支会の会員の方との関りを持つ。

	方全員に参加の声掛けをもっと積極的にいき参加を募っていく。			
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の職員全員が地域の中で必要とされる関係性の構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が運営推進会議に参加出来ておらず関係性を構築するには時間がかかると思う。今後、会議や会合などに職員と一緒に参加していきたいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議に利用者様やご家族の参加が無い。 ・会議の中での地域の困りごとや現状の様子の意見が活発に出ている。 ・会議の中から出た問題点はどうなったのかが知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の中で出た意見や困りごとなど職員間で話し合い検討し解決に取り組んでいきたい。 ・会社（遠友舎）全体での改善計画を立て取り組んでいきたい。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の他事業所の管理者との話し合いを早急を実現したい。その中で防災マップも作成し、事業所間で連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣との話し合いや防災マップの作成も進んでおらず、とりあえず事業所の防災マニュアルを作成し、運営推進会議で地域の方にも見てもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の「防災マニュアル」は良く出来ていると思う。地域の中でも紹介してほしい。 ・避難場所が安全かどうか心配。他の自治会は高い場所にあるパチンコ店の駐車場が避難場所になっている。 ・医療センターはライフラインが無く避難場所には適さない。 ・この地区（宇都地区）は、岩盤の上に土地があるので、土地はしっかりしている。 ・川の増水時に橋が崩れないかが心配。 ・桜島や新燃岳による被害の影響が出た場合、高齢者をどう避難させるべきかを考えておかなければならないと思う。 ・何をしてもあわてない事が大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアルを見直し再度、細かいところを検討する。必要事項の見直しはその都度行う。